

付二 中ソ国交回復問題

616 昭和7年6月10日 在南京上村総領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)

中ソ国交回復問題に対する満州国および満鉄要人等の動向に関する中国側新聞報道について

南京 6月10日後発
本省 6月10日後着

第四四六號

十日ノ新京日報ハ外交部ハ六日ノ政治會議ニ於テ決議セル露支國交回復問題ニ關スル方針ニ基キ目下伊太利滯在中ノ莫德惠ニ對シ至急莫斯科ニ至リ蘇聯側ト差當リ非公式ニ商議ヲ開始スル様訓電セル旨特報セリ

尙十日ノ各新聞ハ張景惠、熙洽、大橋、施履本、沈瑞麟、李紹庚等ハ八日哈爾濱ニ於テ蘇聯總領事、東支鐵道蘇聯側局長、理事等ヲ正式宴會ニ招キ交驩シタルカ右ハ國民政府ノ復交問題抬頭セル際滿洲國ニ於テ蘇聯ニ對シ先鞭ヲ着ケントスルモノニシテ之ト同時ニ内田總裁、本庄司令官、謝

介石ハ奉天ニ會シ

(一) 滿洲國ハ東支鐵道ニ關スル蘇聯側ノ正當ナル利益ヲ認メ
(二) 蘇聯側ハ滿洲國ノ承認ヲ聲明シ

(三) 滿洲國ハ哈爾濱外四箇所ニ領事ヲ派遣ス

(四) 奉露協定ノ廢止

(五) 別ニ滿洲、蘇聯國間通商條約ヲ締結シ

(六) 公使ヲ交換スル事

ノ六項ヲ打合セタル旨報道シ居レリ

支、北平、奉天、長春、哈爾濱へ轉電セリ

617 昭和7年6月11日 在中国重光公使より 齋藤外務大臣宛(電報)

國民政府ガソ連邦ト國交回復交渉のため莫德惠を伊國からモスクワ帰還方電命との新聞報道について

上海 6月11日後発
本省 6月11日後着

第九四五號

十一日當地新聞ニ掲載セラレタル南京發「ロイテル」及U、

Pハ外交部發表トシテ支那政府ハ愈々蘇聯邦ト國交恢復ノ交渉ヲ開始スルコトニ決定シ目下「イタリ」ニアル莫德惠ニ對シ莫斯科ニ歸還方電命シタル旨報シ居レリ詳細南京ヨリ報告アルヘキモ爲念
南京ニ轉電セリ

618 昭和7年6月11日 在南京上村総領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)

沈外交部五州司長の中ソ復交問題等に関する記者団への談話について

南京 6月11日後発
本省 6月11日後着

第四五二號

十一日ノ新聞ニ依レハ十日沈靚鼎ハ記者團ニ對シ大要左ノ通語リタル趣ナリ

- 一、中央ニ於テハ露支復交問題ニ關シ慎重審議ヲ重ネタル結果差當リ露支不侵略條約ヲ締結スルコトニ決定セリ右ハ聯盟規約及不戰條約ノ精神ニ合致スルモノナルヲ以テ蘇聯側ニ於テ締結ノ意思アラハ支那政府ハ欣シテ之カ速成

- ヲ計ルヘシ又此ノ種條約ハ獨リ蘇聯トノミナラス其他ノ各國ト雖世界平和ノ維持ヲ希望スルモノナルニ於テハ支那政府ハ何時ニテモ之ヲ締結スヘシ即チ日本ノ如キモ若シ其ノ侵略政策ヲ拋棄シテ我國ト不侵略條約ヲ締結センコトヲ欲スルニ於テハ是亦差支ナシ蘇聯邦ト右條約締結ノ上ハ兩國國交ハ當然自動的ニ回復スヘシ尤モ國交回復ト連俄容共トカ決シテ同一ニ非ラサル次第ハ從來外交部ノ屢々聲明セル處ナリ今回復交問題進展ノ根本原因ハ兩國ノ友誼ヲ維持シ進シテ世界ノ平和ニ貢獻セントスルモノニシテ決シテ東支鐵道ノ形勢ニ依リ之カ必要ニ迫ラレタル譯ニ非ラス
- 二、圓卓會議ニ關スル日本側ノ熱烈サハ最近ノ氣候ト同様ナリ然ルニ各國ハ會議開催ノ必要ヲ認メ居ラス
- 三、九月ノ聯盟總會ニ若シ顧維鈞カ出席シ得ルニ於テハ各方面トモ好都合ニ付中央ハ顧ヲ駐佛公使兼聯盟代表ニ任命スル意向ナリ
- 四、調査團ノ報告書作成地トシテ日本側ハ飽ク迄大連ヲ主張シ我方ハ北戴河ヲ主張セルカ結局折合ヒ青島トスルヤモ知レス

兵日本ハ東北ニ最高行政長官ヲ置カントスル趣ナルカ此ノ種ノ遣口ハ朝鮮併吞ノ際ニ於ケルト全然同様ニ付外交部ハ日本側ニ於テ愈進行ノ決意ヲ示シタル場合ハ必ス重要ナル表示ヲ爲スヘシ

六上海ノ日本陸戦隊ハ未タ協定通徹退セサルニ付目下交渉中ナルカ右ハ時間ノ問題ニシテ最近ノ裡ニ必ス徹退スヘシ
支、北平、奉天、長春、哈爾濱へ轉電セリ

619 昭和7年7月18日 在上海村井総領事より 内田外務大臣宛(電報)

中ソ兩國が各提出した復交の先決条件に関する情報について

上海 7月18日後発
本省 7月18日後着

第八五一號

往電第八四一號ニ關シ

十七日當館牒報者カ孫科秘書劔南汝ヨリノ聞込トシテ報告スル處ニ依レハ王ハ赴京汪精衛ト會見全權代表ヲ引受ケタ

620 昭和7年7月27日 在ソ連邦広田大使より 内田外務大臣宛(電報)

中ソ復交交渉の進展なき旨王曾思の内話について

モスクワ 7月27日後発
本省 7月28日前着

第四四七號

往電第三八八號ニ關シ

二十五日王曾思ハ天羽ニ對シ蘇支交渉ハ六月二十九日「カズ」ト會見以後少シモ進捗シ居ラス從テ支那側又ハ蘇側ヨリ新タニ提議シタリトノ報道ハ根(據)ナシ又新聞ニハ王正廷、汪精衛或ハ陳友仁ノ蘇聯邦派遣説傳ヘラレ居ルモ何等聞込ナシト内話シ二十七日「カズ」モ天羽ニ對シ王トハ六月二十九日會見以來同問題ニ付會談シタル事ナク蘇支間ニハ其後何等交渉シ居ラス自分モ數日ノ内ニ高架索方面ニ約一箇月間休暇ヲ取ル筈ナレハ當分支那側ト會見ノ機會ナカ

ルヘシト内話セリ
在歐米各大使、聯盟ニ轉電セリ
奉天ニ轉電シ哈爾濱、長春、上海、北平ニ轉電セシム

リ尙蘇支復交ノ先決條件トシテ支那側提出ノモノハ(一)不侵犯條約ノ締結(二)滿洲國ノ不承認(三)中國領土内ニ於ケル共產主義不宣傳ノ保障(四)中東鐵道問題談判ノ繼續ノ四項、蘇側ノモノハ(一)特殊海關條約ノ締立並ニ蘇聯出產物ニ對スル各種優待辦法ノ舉措(二)反蘇的書類演説及傳單ノ禁止(三)在支白露人ノ教會及政治組織ノ取消ノ三項ナルカ蘇側トシテハ支那側提出ノ(四)ニ對シテハ既ニ權益保護ノ見地ヨリ支那側ヨリモ滿洲國側トノ共同管理ヲ有利ト認メ既ニ此レヲ同意シタル經緯アリ受諾ニ最困難ヲ感シ居リ又支那側トシテハ蘇側ノ(二)ノ受諾ハ將來共產黨打倒ノ法ナキニ至ルヘキヲ以テ難色アル趣ナリ

因二十六日新聞報ハ南京外交界消息トシテ蘇支復交問題モ最近双方意見接近シツツアルカ本件交渉圓滿解決スルモ殊更復交ノ宣言等ヲ爲サス先ツ双方公使館領事館員ノ待遇ヲ承認スル事ニ依リ事實上復交ノ表示ヲ爲ス筈ナリト報道シ居レリ御參考迄

支へ轉報セリ
北平、奉天、長春、南京、廣東へ轉電セリ

621 昭和7年11月2日 在ソ連邦天羽臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)

國際連盟中國代表顏惠慶がジュネーヴ出張中のリトヴィノフ人民委員に對し中ソ復交を提議したとの情報について

モスクワ 11月2日後発
本省 11月3日前着

第六七三號

十月二十九日獨逸代理大使又三十一日U、P特派員來訪ノ際各々當地支那全權事務所(莫德惠不在後王曾思居残り居レリ)ヨリ聞込ミタル所ニ依レハ「リトヴィノフ」壽府ニ出張ノ際顏惠慶ヨリ「リ」ニ宛テ南京政府ハ蘇聯政府ト國交ヲ回復シ度キ意思ナル旨並國交回復迄ハ一九二四年ノ北京條約ニ依リ律セラルヘキ旨ノ「ノート」ヲ送り「リ」ハ之ニ對シ國交回復ノ交渉ニハ應スルモ右交渉纏マル迄一九二四年ノ北京條約ニ依リ律セラルヘシトノ提議ヲ應諾シ得サル旨回答シタル旨ノ聞込アリタリトテ其ノ眞否ニ對スル意見ヲ聞キタルコトアリシニ付昨一日「カズ」ト會見ノ際右ニ付質問シタル處「カズ」ハ壽府ニ於テ顔ヨリ「リ」ニ書

ニ付質問シタル處「カズ」ハ壽府ニ於テ顔ヨリ「リ」ニ書簡ヲ送り曩ニ支那側ヨリ提議シタルコト(不侵略條約ノ締結ト國交恢復ノ提議往電第三八六號御參照)ト同様ノ提議ヲ爲シタルモ其後何等事件ハ發展シ居ラスト聞ケリ自分モ其詳細ノ事情ヲ知ラサルカ或ハ詳報ヲ差上クルコト出來ルヤモ知レスト答ヘシカニ日會見ノ際之ニ言及セシニ「カズ」ハ言葉ヲ濁セリ

巴里聯盟ヘ轉電セリ

支、滿ヘ轉電アリ度シ

622

昭和7年12月11日 在ソ連邦天羽臨時代理大使より
内田外務大臣宛(電報)

中国側の國交回復方申出に承諾し近日ノート
交換の運びになるとのカラハン談話について

モスクワ 12月11日午後
本 省 12月12日前着

第脱號(至急)

十一日午後七時過「カラハン」ノ招ニ依リ往訪シタル處「カ」ハ蘇聯邦ト支那トノ關係ニ付先般御尋ネアリタルカ最近ノ

ンノ噂ナルカ顔惠慶自身カ來ルトノ聽込アリ蘇聯邦ノ方ハ其ノ間際ニ爲ラサレハ決定セサルヘシト答ヘタリ

滿、壽府聯盟、土ヲ除ク在歐米各大使ニ轉電セリ

大臣ヨリ支、北平、南京ヘ轉電アリ度シ

編注 『日本外交文書』滿州事變第三卷第128文書參照。

623

昭和7年12月13日 沢田連盟事務局長より
内田外務大臣宛(電報)

リトヴィノフの中ソ復交に関する声明について

ジュネーヴ 12月13日前発
本 省 12月13日前着

第六六六號
往電第六六四號ニ關シ

十二日夕「リトヴィノフ」ハ大要左ノ聲明ヲナシタリ

國交ノ斷絶ハ正常ノ國家間生活ヲ亂シ平和ニ對スル危險ヲ構成ス數年前露支國交斷絶ニ至ラシメタル事實ニ付テハ今更説明ノ要ナシ唯右ハ蘇聯邦ノ「イニシアティブ」ニ依ラズシテ起リタルコト等想起スレハ足レリ蘇聯政府ノ政策ハ

關係御話スヘシトテ約四箇月前壽府ニ於テ顔惠慶ヨリ「リトビノフ」ニ對シ蘇支外交關係再開方申出アリタルカ元來蘇支外交關係ノ斷絶ハ支那側ヨリ發動シタルモノナルカ故ニ支那ニ於テ其ノ再開ヲ希望スル以上蘇聯邦トシテ之ニ反對スル理由無キモ當時支那側ノ申出ニテ或條件カ附セラレ居タルニ付支那側ニ對シテハ蘇聯邦ハ無條件ノ外交關係再開ヲ希望スル旨答ヘ置キタリ然ルニ唯今「リトビノフ」ヨリ受ケタル電報ニ依レハ昨日「リ」カ壽府ニ着クテ顔ヨリ無條件外交關係再開ノ希望申出アリ「リ」ハ豫テ受ケ居ル一般訓令ニ基キ之ヲ應諾シタル由ナリ多分明日又ハ明後日右ニ關シ「ノート」ノ交換アルヘキカト思ハル右ハ蘇聯邦ノ根本政策ニ基クモノニシテ特ニ何等ノ意義アルモノニ非ストノ趣旨ヲ述ヘタルニ付本官ハ右情報ヲ謝シ蘇聯邦カ隣邦ト外交關係ヲ再開スルハ慶賀ニ堪ヘス日本トシテモ兩隣國カ平常關係ニ還ルコトヲ歡迎スト述ヘタルニ「カ」ハ謝意ヲ以テ應ヘタル後支那トハ隣國ト云フモ接壤關係ハ甚タ曖昧ト爲レリ國境關係ハ新疆方面カト哄笑セリ次テ本官ハ外交關係再開ノ上ハ直ニ使臣ノ交換ヲ見ルヘキカト思ハルルカ支那ヨリハ誰カ來ルヤト聞ケルニ「カ」ハ之ヲホ

各國トノ間ニ正常關係ヲ樹立シ之ヲ維持スルニアリ過去ニ國交ノ斷絶ノ方法ヲ取リタル國カ蘇聯トノ紛争ヲ解決スルニ成功セリト誇ル事能ハサル可シ今日支那人ニシテ露支國交斷絶ノ結果支那ノ爲ニ利益ナリシト考フル者無キヲ信ス現在ノ極東ニ於ケル紛争ハ太平洋岸ニ在ル凡テノ國カ相互ニ外交關係ヲ維持セサリシ事實ニ基ク事尠カラズ蘇聯邦人ハ過去モ今日モ支那人カ獨立及主權ヲ維持シ平等ノ「ステータス」ヲ完成セント努力シツツアルニ對シ最大ノ同情ヲ有セリ各國中蘇聯ノミカ不平等條約、治外法權其他ヨリ支那ヲ自由ニシ且ツ帝政露國ノ獲得セル鐵道利權ヲ露支共管ノ商業的企業ニ變更シタリ右ノ精神ハ一九二四年露支國交設定ヲ導キタルモノニシテ今回ノ國交恢復モ之ト同様ノ精神ニ發セリ蘇聯ハ何等秘密ノ政治的結合又ハ協定ニ依リ束縛セラレ居ラス從而一國トノ國交改善ノ爲他國トノ關係ヲ惡化スル事無シ總テノ國家カ相互ニ國交ヲ維持スル事ニ依リ初メテ平和ヲ目的トスル國際協力權威有ル國際機關ノ創造等ニ付眞劍ニ誇リ得可シ余ハ平和及國際協調ノ友人ハ凡テ兩國ノ國交恢復ヲ喜ンテ迎フ可キヲ確信ス

土ヲ除ク在歐米各大使ヘ轉電セリ

624 昭和7年12月14日 在南京上村總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

羅文幹外交部長の對ソ復交に関する声明発表 について

南京 12月14日前発
本省 12月14日後着

第八一八號
往電第八一五號ニ關シ

羅外交部長ハ十三日大要左ノ如キ聲明ヲ發表セリ
支那ハ何レノ國タルヲ問ハス特ニ隣國トハ友好和平關係ヲ
維持セン事ヲ欲ス露支國境ハ世界最長ノ一ナルカ今ヤ正式
ニ外交關係ヲ回復シタルハ頗ル満足トスル所ナリ蘇聯邦ハ
目下建設事業ニ從事シ居レルカ右ハ偉大ナル經濟計畫ヲ建
テ而モ侵略手段ヲ採ラス其人民ノ幸福ヲ促進スルモノナル
事ヲ證スルニ足ル現在支那ノ當面ノ事業ハ全ク之ト同様ノ
感有リ支那政治家ノ急務ハ偉大ナル物質的及經濟的建設ヲ
計畫シ全世界ヲシテ其利益ヲ享ケシメントスルニ在リ然ル
ニ右計畫ノ實行タルヤ其最モ肥沃ナル地域カ突然侵略占領

一九二九年ノ中東路事件カ解決セラレ正常ノ國交回復セ
ラレ居タランニハ奉天事件モ起ラス滿洲問題モ今日ノ如
キ紛糾ヲ見スシテ濟ミタル可シト復交ノ遅カリシヲ怨ミ
ツツモ米蘇ノ接近、佛蘇關係ノ急轉等國際關係ノ轉換期
ニ能ク機先ヲ制シテ獨特ノ外交ヲ確立シ自主的立場ヨリ
復交シタルハ事宜ニ適スト述フ

新聞報

申報ト同様復交ノ遅カリシ點ニ遺憾ノ意ヲ表シタル後蘇
聯邦ハ既ニ滿洲國ニ對シ沿海州ニ領事派遣ヲ許シ居リ一
九人委員會加入モ拒絶シ只管國力ノ培養ニ努力シ居ル際
ナレハ滿洲問題解決ニ其ノ援助ヲ求ムルヲ得スト言ヒ復
交後ノ措置トシテハ差當リ外蒙古事件ノ解決及西北カ長
期抗日ノ根據地タルニ鑑ミ物質補充^(資)ノ見地ヨリ其ノ交通
ト開發ヲ計ル事必要ナリ要スルニ復交ハ西北邊防ノ一助
タルニ過キス之ニ依リ東北失地恢復ノ助力ヲ期待スルナ
ラハ聯盟ニ於ケルト同様ノ失望ヲ感スルニ至ラント述フ

時事新報

復交成功ノ理由ハ懸案ノ解決ヲ復交後ニ讓ル事ニ雙方同
意シタルト蘇側外交政策ノ變更ニ歸シ得可シトナシ國民

セラレタル爲遂ニ種々ナル困難ト障害トヲ發生セリ支那ノ
平和ヲ目的トスル事業ヲ外國カ武力ヲ以テ破壊スル事ハ眞
ニ甚大ナル脅威ニシテ之カ爲或ハ重大ナル結果ヲ發生スル
ヤモ知ル可カラス故ニ相互信頼及國際協力ヲ促進スルニ足
ル可キ如何ナル努力モ悉ク貴重ニシテ且ツ獎勵ス可キモノ
トス現在ノ露支新關係ハ兩國カ互ニ極東ニ於テ平和繁榮ノ
新時代ヲ希望セル結果ニシテ露支國交ノ回復ハ此意味ニ於
テ特別ノ意義ヲ有ス
委細郵報
支、北平、滿、奉天へ轉電セリ

625 昭和7年12月14日 在中國有吉公使より
内田外務大臣宛(電報)

中ソ復交に関する漢字紙などの論調について

上海 12月14日後発
本省 12月14日後着

第一四一號

一露支復交ニ關シ漢字紙ハ十三日朝刊ニ逸早く之ヲ報道シ
十四日ハ一齊ニ論評ヲ加ヘ居ル處重ナル論調左ノ通

ハ今次復交ニ付(一)右ハ國際間ノ常態ニ復シタル以外何等
ノ作用モ背景モ無キ事(二)對日紛糾聯盟關係其他各國トノ
間ハ全然無關係ナル事(三)共產主義ノ露國ヲ友邦トスル事
ト共匪ノ討伐トハ別個ノ問題ナル事ヲ明確ニ認識スルヲ
要スト説ク

晨報

兩國政府當局ノ敏腕ト英斷ニ敬意ヲ表シタル後兩國關係
ハ絶交後モ實質的ニハ存續シ居タルヲ以テ之ニ依リ變態
的關係カ常態ニ復シタル迄ナリ日本ハ露國ニ對シ激烈ナ
ル反感ヲ有スルニ拘ラス不可侵條約締結ニ汲々タル今日
中國カ蘇聯邦トノ交情關係ヲ回復シタリトテ何ソ驚愕猜
疑ノ要アラシヤト言ヒ復交ニ依リ兩國ニ對スル挑發離間
ハ跡ヲ絶チ極東ノ暗影ヲ拂フニ與テ力有ルノミナラス從
來中國カ他力主義ナリトノ世上ノ非難モ今次ノ自主的的外
交ニ依リ復交ニテ其ノ誤謬ナル事ヲ立證シ得タル譯ニテ
之ニ依リ將來國際的信用ヲ有利ニ導キ得ヘシ只復交ハ飽
迄復交ニ止リ中國ハ自立ヲ以テスル外無ク滿洲問題解決
ニ對シ曩ニ聯盟ニ失望セシ吾人ハ蘇聯ニ對シテモ何モノ
ヲモ期待シ得スト述ヘ復交今後ノ措置ニ付政府ノ慎重善

ヲモ期待シ得スト述へ復交今後ノ措置ニ付政府ノ慎重善處方ヲ希望シ居レリ

外字新聞論調ノ主ナルモノ左ノ通

「イーヴニングポスト」

露支復交ノ及ホス影響ハ豫斷シ難キモ露國ハ日本ノ希望スル滿洲國承認ニ出テスシテ日支兩國トノ不可侵條約締結トナル可ク露支復交ハ世界平和ノ見地ヨリ時局ニ好影響ヲ與フ可シ

「ジヨルナルドシヤンガイ」

支那ハ東三省恢復ニ對スル露國ノ援助ヲ期待シ居ルモ今日ノ露國ハ他國領土ノ併合ヨリモ聯邦間ノ連結ヲ鞏固ニセントコトヲ希望シ居レリ第三「インターナショナル」ト蘇聯政府トノ關係ヲ知ル者ニハ復交ニ依ル支那内政ノ平和ハ期待シ得ス

「チヤイナプレス」

露國ト手ヲ切ルコトニ依リ他國ノ同情ヲ得ントセル支那ノ外交ハ失敗ニ歸シ日本ハ却テ露國トノ提携ニ依リ時局ヲ有利ニ轉回シ來レリ露支復交ハ決シテ支那ノ共產主義ノ承認ヲ意味スルモノニ非ス復交ニ依ル兩國ノ經濟的利

益ハ極メテ大ナル可シ

上海へ轉報セリ

滿、奉天、北平、天津、南京、漢口、廣東へ轉電セリ

626 昭和7年12月14日 在米國齋藤臨時代理大使より
内田外務大臣宛(電報)

中ソ復交が日本に与えた影響に関する米国有

力紙論調について

ワシントン 12月14日後発

本省 12月15日後着

第六六七號

(一)十四日新聞ハ戰債問題ニテ正ニ持切ノ有様ナルモ而カモ相當目拔ノ場所ニ露支國交恢復カ我政府ニ多大ノ不快ヲ與ヘタルコト我政府ハ米露招請方ノ英國提議ヲ拒絕セルコト等ヲ報セル東京電報ヲ掲載シ我對露態度硬化シ又滿洲問題紛糾ノ徵アルヤノ印象ヲ讀者ニ與ヘ有力新聞論調亦同様ニシテ特ニ米國參加方ノ英國提案反對ニ對シテハ我態度ヲ非トスル口吻ヲ示セリ

(二)露支國交恢復ニ對スル國務當局ノ意嚮ニ關シ十三日ノ紐

育「タイムス」華府通信ハ華府官邊ニ於テハ露支國交恢復ヲ以テ日本ノ壓迫ヨリ來レル當然ノ結果ナリト認メ居ル處「フーヴァー」大統領ハ何等露國承認ヲ考慮シ居ル形跡無ク露國ヲ承認スルトセハ「ルーズヴェルト」ノ仕事ニシテ夫モ民主黨領袖ニ於テ非公式ニ言明シ居ル如ク「ルーズヴェルト」ノ立案セル承認問題調査ノ計畫ヲ進行シタル上ノコトナリ國務當局ハ對露問題ニ關シ絶對ニ沈黙ヲ守リ居ル處米國トシテ此ノ際何等露國ニ對シ素振ヲ示スコトハ右カ如何ニ善意ナルニセヨ日本側ニ無用ノ誤解ヲ與ヘ唯事態ヲ紛糾セシムル計リナルヘク日本カ米露ノ和解委員會參加ニ反對セリトノ報アル矢先殊ニ其ノ然ルモノアラント報ス

(三)有力新聞ノ論調左ノ通り

紐育「タイムス」

最近極東ノ雲行穩カナラサルモノアリ露支國交俄ニ恢復セラレタル爲日本ハ相當興奮シ之ニ依リ少カラサル危險ヲ感セリト揚言シ居ルモ日本自身英國ノ注言ヲ斥ケ調停委員會ナルモノニハ干與セサルヘシト公言シ事態ヲ惡化セリ「サイモン」ヲ通シテ現ハレタル英國ノ態度ハ明カニ親日的ニシテ何トカシテ日本ヲ恣憑シ平和的解決ニ到達セント試ミ

タルモノナルモ日本ハ今や壓倒的財政負擔ニ苦シミツツモ

以前ニ増シ自主的軍國主義的ニシテ東亞ノ形勢益々不吉ノ徵候ヲ示シ居レリ

「ヘラルド、トリビューン」

露支外交關係復活ハ日本ヲ近來ニ無ク狼狽セシメタリ壽府ニ於テ「リトヴィノフ」(ハ?)若シ露國カ昨年来支兩國ト外交關係ヲ復活シ居タランニハ日本ノ滿洲侵略ハ起ラサリシナラント言ヘリ露國ハ日本軍部カ不可侵條約ノ締結ニ反對シナカラ尙露國ニ對シ溫和ナル態度ヲ持セルハ露國ノ滿洲承認ヲ贏得ンカ爲ニ他ナラサリシコトヲ熟知セリ日本モ亦露國カ支那ノ反感ヲ買フヘキニモ拘ハラズ滿洲國承認ヲ考慮セルハ東部西比利亞ノ安全ヲ懸念シタルカ爲ナルコトヲ熟知セリ

今や露支外交關係ノ復活ニ依リ露國ノ滿洲國承認ニ對スル日本ノ希望ハ消滅シ露國ノ好意ヲ繫カントセル日本官憲ノ考慮ハ一掃セラレタリ之日本外務省カ公言シテ憚ラサル處ナルカ西洋諸國ハ之ニ對シ同情ヲ表セス殊ニ日本カ英國ノ調停案ヲ拒絕シテ以來特ニ然リ

聯盟ニ轉電セリ

627 昭和7年12月16日 在ソ連邦天羽臨時代理大使より
内田外務大臣宛(電報)

中ソ復交に関する中、米、日の反響につきソ
連邦紙の報道振りについて

モスクワ 12月16日後発
本省 12月17日後着

第九四七號

往電第九三八號ニ關シ

當地新聞ハ、十四日以来各國ニ於ケル蘇支外交關係恢復ノ反響ヲ掲ケ居ルカ其ノ内支那ニ付テハ十三日上海來電トシテ一般輿論ハ蘇支復交ニ對シ隱シ切レサル満足ト喜悅トヲ現ハシ又實業界ハ蘇支通商ノ増進ヲ期待シ更ニ蘇支復交ヲ豫期セサリシ南京ノ各方面ハ滿洲問題ニ關聯スル日支紛争ノ解決ヲ國際聯盟ニ期待セス支那自ラ爲スヘシトノ(意見)支那國民間ニ濃厚トナリツツアルニ鑑ミ南京政府カ賢明ナル措置ニ出テタルモノトシテ國民ノ歡迎ヲ受クヘシト思考シ居レリ云々ト報シ又十四日壽府來電トシテ「リトヴィノフ」ハ十三日顏惠慶、顧維鈞、郭泰祺等ヲ食事ニ招待スルト共

ニ他方羅文幹ト祝電ヲ交換セル旨ノ記事ヲ掲ケ次テ米國ニ於ケル反響ニ關シテハ米國官邊ハ非公式乍ラ蘇支復交ニ満足ナル意ヲ表シ各方面ニ於テハ蘇支復交カ米國ノ蘇聯承認ヲ促進スル動機トナルヘク「ルーズベルト」カ大統領ニ就任スルト共ニ蘇聯承認ニ都合良キ空氣ヲ生スヘシト爲シ居リ又一部ニ於テハ「各國ノ認ムル權威アル國際機關ノ設置」ニ關スル「リトヴィノフ」ノ聲明ヲ以テ蘇聯カ聯盟ト接近セムトスルニ非スシテ現存聯盟規約ヲ蘇聯及米國ノ満足シ得ル様改訂セムコトヲ提議スルモノナリト解シ居レリ云々

更ニ日本ニ於ケル反響ニ付テハ讀賣、朝日、中外、報知等ノ社説ヲ掲載シ日本外務省代表ハ十四日外國通信員トノ會談ニ於テハ極メテ慎重ニ「蘇支復交ヲ以テ日本ニトリ非友誼的ナリト爲スニモ當ラサルヘキカ唯蘇支兩國ニ於テ協定ヲ發表スルニ當リ他ノ場所及時ヲ選ヒ得タルナルヘシト思ハル」ト語りタリ尙蘇支復交ハ日本株式界ニモ影響シ十三日及十四日諸株ハ一齊ニ暴落シ圓爲替モ亦下落セリ云々ト報道セリ
壽府、米、滿へ轉電セリ

628 昭和7年12月17日 在中国有吉公使より
内田外務大臣宛(電報)

中ソ復交に関する外国人記者等よりの日本側
見解問合せに對し我が方にとつてはさしたる
影響なき旨応酬について

上海 12月17日後発
本省 12月17日後着

第一四一四號

往電第一四一三號ニ關シ

露支復交發表セラルルヤ外人記者等ヨリ右ニ關スル我方ノ見解等種々問合セアリ右ニ對シテハ露支復交ハ何等事新ラシキ問題ニアラサルノミナラス兩國ノ國情及滿洲ノ現狀ヨリ見ルモ我方ニ取り左シタル影響ハ無カルヘキ旨ヲ以テアツサリ應酬シ居ル處當地諸新聞ハ日本政府筋ノ談話トシテ日本側カ如何ニモ露支復交ニ神經ヲ尖ラシ騒キ立テ居ルカ如キ感觸ヲ與フル報道ヲ掲載シ又東京朝日及報知新聞等ノ日本外交ノ失敗ヲ難詰スルカ如キ論說ノ大要ヲ特報シテ露支復交ニ對シ日本側ノ驚愕延テハ支那ノ對露外交ノ成功ヲ得意氣ニ宣傳シ居レリ、就テハ右様ノ報道ハ支那側ヲシ

テ徒ラニ附ケ上ラシメ旁諸般ノ點ニ自然面白カラサル影響ヲ與フヘキ惧レモアル次第ナレハ既ニ御氣附キノ次第トハ存スルモ右御含ミノ上貴地方面ヨリノ報道振りニ可然手加減ヲ加ヘラルル様御手配相成度シ
滿、北平、南京、奉天へ轉電セリ
上海へ轉報セリ

629 昭和7年12月17日 在南京上村総領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

ソ連政府が顏惠慶の駐ソ大使任命にアグレマ
ン付与との情報について

南京 12月17日後発
本省 12月18日前着

第八三五號

諜報ニ依レハ本月十五日蘇聯邦政府ハ顏惠慶ノ駐露大使任命ニ對シ「アグレマン」ヲ與ヘタル趣ナリ右聞込ノ儘
支、北平、滿、奉天へ轉電セリ

630

昭和7年12月20日 在広東吉田総領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

對ソ復交には賛成するが僅かでも容共のおそ
れあれば中央攻撃の具にしようとする等の広
東側態度について

広 東 12月20日後発
本 省 12月20日後着

第七二四號

往電第七一七號ニ關シ

中央宛電報ハ十九日發出セラレタル趣ノ處(電文未タ公表
セス)西南側トシテハ曩ニ孫科トノ行懸リモアリテ俄ニ露
支復交ヲ鵜呑ミニスルコト能ハサル事情アリ左リトテ此ノ
際無下ニ不賛意ヲ表明スルコトハ現在機微ナル露支關係ニ
意外ノ破綻ヲ招キ延テハ國民ノ反感ヲ買フ惧レアルヘキニ
顧ミ復交ト容共トハ自ラ異レリトテ復交其ノモノニハ賛成
スルモ聊カニテモ容共ノ香アルニ於テハ之ヲ以テ中央攻撃
ノ具トセントスルモノノ如ク又今次ノ復交成立ニハ何等附
帶密約乃至秘密了解アルヘシトノ見込ヲ附ケ先ツ此ノ點ニ
付一矢ヲ放チ徐口ニ其ノ態度ヲ決セントスルモノナルヤニ

トノ關係上到底問題トナラス結局僅カニ石油ヲ購入スル程
度ナルヘシ

ニ駐露大使トシテハ學良ハ莫德惠ヲ推薦シ居ルニ對シ南京
方面ニテハ王正廷ノ自薦運動猛烈ナルカ結局顏惠慶ニ落付
ク模様ナリ

三 蔣ハ右復交ノ副産物トシテ支那カ再ヒ赤化シ來ルヘシト
ノ國民ノ疑念ヲ一掃スル爲復交ト同時ニ政府ヲシテ各地ノ
官憲ニ對シ共產黨取締ノ嚴命ヲ發セシメタルカ現ニ當地ニ
於テモ逮捕セラレタル學校教授及學生ハ五十餘名ニ達セリ
四 韓復榘ハ學良ニ會見ノ爲近ク來平ノ筈ナルカ右用務ハ劉
珍年撤退後ノ芝罘、龍口、兩地ニ於ケル沈鴻烈海軍ノ警備
費ノ負擔問題等善後措置協議ノ爲ナリ
支、滿、南京、廣東、漢口、濟南、青島、芝罘、天津、奉
天、哈爾濱へ轉電セリ



觀測セラル不取敢
冒頭往電ノ通り轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報シ香港へ暗送セリ

631

昭和7年12月20日 在中國中山公使館一等書記官より
内田外務大臣宛(電報)

中ソ復交は蔣介石の対内政策に過ぎずとの耿
堅白の情報について

北 平 12月20日後発
本 省 12月20日後着

第六八八號

十九日耿堅白ノ情報左ノ通り
一 一般ニハ露支ノ復交ニ依リ日本ヲ牽制シ得ヘク外交上ノ
勝利トシテ歡迎シ居ルモ實ハ右ハ蔣介石ノ對内政策ニ過キ
ス即チ蔣ハ聯盟ノ空氣芳シカラサルヨリ生スル輿論ノ沸騰
ニ備フル爲ト汪精衛、孫科等連露派抱キ込ミノ爲連露ヲ策
シ露カ豫テ復交ヲ提議シ居レルヲ幸ヒ急遽無條件ニテ應諾
シ以テ國民ノ注意ヲ聯盟ヨリ對露問題ニ轉セシメタル次第
ニテ露支協定、東支鐵道問題等外交上ノ現實問題ハ滿洲國

632

昭和7年12月22日 在中國有吉公使より
内田外務大臣宛(電報)

中ソ復交に對シ宋慶齡および孫科が賞賛シソ
連側も内々満足の様子等について

上 海 12月22日後発
本 省 12月22日後着

第一四八九號

露支復交ニ關シ南京電報ハ通商條約締結交渉モ近ク開始セ
ラルヘク露支貿易ノ發展ヲ豫想セラレ居ル旨報道シ居ル處
旨ヲ含メテ三中全會ニ派遣セルモノノ内報ニ依レハ宋慶
齡、孫科等カ盛ニ新協定ヲ謳歌シ居リ蘇聯側モ内々頗ル
満足シ居ル様子ナレハ其間何等政治的諒解アルヤニモ觀測
セラレ從テ早晚左派ノ擡頭免レサルヘク一方支那側モ滿洲
問題ニ關シ蘇聯ノ援助ヲ期待シ居ルカ如シト不取敢
北平、南京、滿へ轉電セリ

